



かみさまはすばらしいことをなさいます。
かみさまはすべてがかのうです。

かみにできないことはなにひとつない。
(ルカ 1・37)



マリアはパレスチナのちいさなまち、ナザレにすんでいます。ひとりでいえずがくに、こころのなかのかみさまにのっています。でもなにがおこったのでしょうか？ かみさまがおくられた、てんしがブリエルがあれられます。



てんしはいました。「おそれることはない。かみのイエスのいはとなることをあなたにつげるため、かみさまはわたしをつかわれました。」マリアはとてもびっくりしました。「かみにできないことはなにひとつない」とてんしはいました。



しんせきのエリザベトのことをはなします。「しをとっていますがあかちゃんがつまれます。」マリアはあいをもって「はい！かみさまがおのぞみなら、わたしもそれをのぞみます。」とこえをします。そしてエリザベトをたすけるためたびげちます。



ジェン 4 たちはまずしいひとたちをたすけるためのバザーにたくさんのおもちゃをだしました！ ぼくもチケットをかってすてきなおもちゃをもらったんだ！ こんないいおもちゃをあげるなんで、ジェン4たちどうしてできるんだろう？ ぼくにはできないとおもった！



なんにちかあと、いとこのたんじょうびだった。ぼくのいえにきてずっとぼくがもらったおもちゃであそんでいた。ゆうがたになり、それをもってかえりたかった。おとうさんは、「おまえのじゃないからここにおいてきなさい！」といった。



いとこがあんまりほしいというので、おとうさんはなんごちかんだけかしてもらいなさいとほました。ぼくはこころのなかのイエスさまのこえをきき、はつきりいったんだ！ いいよ、もってかえて！ きみにあげるよ！
ホントに、イエスさまはなんでもおできになるよ！
イタリアのペスカーラより